

健康社会研究センター ニューズレター 第41号

2016. 4. 14 発行

◆ 目次 ◆

- 1 最新のお知らせ
- 2 主な研究成果発表
- 3 シンポジウム・講演・メディア等
- 4 研究費獲得のお知らせ
- 5 自治体共同研究会等
- 6 その他

健康社会研究センターはJAGES(日本老年学的評価研究)の事務局の1つとして、下記のような活動に取り組んできました。

1. 最新のお知らせ

JAGES 代表近藤克則が国立長寿医療研究センター部長を併任

2016年4月1日に、国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学センター老年学評価研究部長の辞令を受けました

クロスアポイントメント制度(下記参照)の適用で、上記の国立長寿医療研究センター部長として週1日、千葉大学予防医学センター 社会予防医学研究部門 ならびに大学院 医学研究院 公衆衛生学 教授として週に4日、それぞれの業務に従事します

クロスアポイントメント制度とは、『『日本再興戦略』改訂2014』(平成26年6月24日閣議決定)や『科学技術イノベーション総合戦略2014』(平成26年6月24日閣議決定)等において、積極的な導入・活用の必要性がうたわれているものです(<http://www.meti.go.jp/press/2014/12/20141226004/20141226004.html>)「研究者等が大学、公的研究機関、企業の中で、二つ以上の機関に雇用されつつ、一定のエフォート管理の下で、それぞれの機関における役割に応じて研究・開発及び教育に従事することを可能にする制度です

(中略)今後、大学や公的研究機関、企業等の間でクロスアポイントメント制度が活用されることにより研究者等の人材が組織の壁を越えて活躍することを通じて、イノベーション・ナショナルシステムにおける技術の橋渡し機能が強化されることを期待します」

JAGES 研究会、シンポジウムが開催されました(2015年)

9月26日 東京(東京大学) 定例研究会 他

午前中は定例研究会、午後に日英米芬共同研究会が開催されました。

9月27日 東京(東京大学) 研究会/シンポジウム

午前中は、日英共同研究、午後には、Professor Dr. Richard Watt をお招きして、国際シンポジウム「健康の社会的決定要因と健康格差の縮小: 歯科分野の研究と政策の観点から」が行われました(写真)。

10月31日 名古屋(日本福祉大学) 定例研究会

11月27日 東京(東京大学) 定例研究会

ハーバード大学からの Professor Dr. Ichiro Kawachi、Professor Dr. Kasisomayajula Viswanath の両先生にコメントをいただきながら、英語での研究会が行われました。

12月5日 東京(東京大学) 定例研究会

12月6日 東京(東京大学) ワークショップ

齊藤雅茂によるワークショップが行われました。篠崎智大先生(東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻生物統計学分野)に



Dr. Richard Watt の発表(写真:上)と
国際シンポジウム(写真:下)(2015.9.27)



『変化する暴露の効果推定について』の講義をしていただいた後、JAGESの3時点パネルを用いて、グループごとにモデル・解析のアイデアを発表しました。

プレス発表を行いました

2015年10月27日、東京大学にて記者に開放した研究発表会が行われ、4つのプレスリリースが紹介されました。各プレスリリースは、JAGESのホームページ、プレスリリース: <http://www.jages.net/#/cl20> でご覧ください。

メディアで紹介された記事に関しては、<メディア掲載・放送> (p.8) に載せてあります。

1. No. 058-15-03 「男性の肥満による死亡リスクは低所得者で約2倍高くなる」(中出美代)
2. No. 059-15-04 「高齢者のうつ割合には市町村間に1.7倍の地域差 地域の人とのサポートの授受が豊かだと減る」(佐々木由理)
3. No. 060-15-05 「笑わない人では健康感が悪い人が1.5倍以上多い」(林慧、近藤尚己)
4. No. 061-15-06 「ひとり暮らしの男性はひとりで食事をしていると2.7倍うつになりやすい」(谷友香子)

厚生労働省の「見える化」システムが、バージョンアップしました

JAGESが開発した介護予防webアトラスをプロトタイプに開発中の地域包括ケア「見える化」システム ver1.3が、2015年10月30日にリリースされました。

詳しくは、こちらをごらんください。(<http://mieruka.mhlw.go.jp/>)

読売新聞の医療サイト「ヨミドクター」の“編集長インタビュー”に近藤克則やJAGESのことが5回にわたって連載中です(岩永直子編集長 編)。ぜひ、ごらんください

- 1 回目「命の不平等、ほっとけない」(<http://www.yomidr.yomiuri.co.jp/page.jsp?id=125849>)
- 2 回目「父が背中であげてくれたこと」(<http://www.yomidr.yomiuri.co.jp/page.jsp?id=126151>)
- 3 回目「ソーシャル・キャピタル 人とのつながり豊かな日本」(<http://www.yomidr.yomiuri.co.jp/page.jsp?id=126437>)
- 4 回目「現場の触れ合い、手放さない」(<http://www.yomidr.yomiuri.co.jp/page.jsp?id=126717&from=popin>)
- 5 回目『「見える化」で共に作る 幸せな社会』(<http://www.yomidr.yomiuri.co.jp/page.jsp?id=127000>)

2. 主な研究成果発表

<論文等>

- 1) Yamakita M, Kanamori S, Kondo N, Kondo K. Correlates of Regular Participation in Sports Groups among Japanese Older Adults: JAGES Cross-Sectional Study. PLoS One. 2015;10(10):e0141638. <open access> (査読あり)
- 2) Yamamoto T, Fuchida S, Aida J, Kondo K, Hirata Y. Adult Oral Health Programs in Japanese Municipalities: Factors Associated with Self-Rated Effectiveness. Tohoku J Exp Med. 2015;237(4):259-66. <open access> (査読あり)
- 3) [再掲] Tani Y, Sasaki Y, Haseda M, Kondo K, Kondo N. Eating alone and depression in older men and women by cohabitation status: The JAGES longitudinal survey. Age Ageing. 2015;44(6):1019-26. <open access> (査読あり)
- 4) K Kondo, Evaluation of Effectiveness, Quality and Inequalities in Health, Medical and Long-Term Care – Achievements and Challenges – Policy Research Institute, Ministry of Finance, Japan, Public Policy Review, 11(5), 2015(査読なし)
- 5) (論文はこちら http://www.mof.go.jp/english/pri/publication/pp_review/ppr031/ppr031b.pdf)
- 6) 斎藤民, 近藤克則, 村田千代栄, 鄭丞媛, 鈴木佳代, 近藤尚己: 高齢者の外出行動と社会的・余暇的活動における性差と地域差 JAGES プロジェクトから. 日本公衆衛生雑誌 62 (10): 596-608, 2015
- 7) 近藤 尚己: 【特別論文】自治体で「健康格差対策」に取り組むための5つの視点. 保健師ジャーナル 71 (11): 950-956, 2015 (査読なし)
- 8) 長嶺 由衣子, 辻 大士, 近藤 克則: 市町村単位の転倒者割合と歩行者割合に関する地域相関分析 – JAGES2010-2013 連続横断分析より –. 厚生指標 62 (12):1-8, 2015 (査読なし)

- 9) 佐々木 由理, 宮國 康弘, 谷 友香子, 長嶺 由衣子, 辻 大士, 齋藤 民, 垣本 和宏, 近藤 克則: 高齢者のうつ
の地域診断指標としての社会的サポートの可能性 -2013年日本老年学的評価研究(JAGES)より-. 老年精神医
学雑誌 26 (9):1019-1027, 2015 (査読あり)

<学会発表>

1. The 143rd American Public Health Association Annual Meeting, (Chicago, USA, 2015.11.1)
 - 1) Saito T, Murata C, Jeong S, Kondo K. Does the quality of patient-physician communication affect health care seeking behavior among the old? (Poster presentation)
 - 2) Saito-Kokusho T, Murata C, Jeong S, Kondo K, JAGES Group. Depression in older Japanese male and female caregivers: the Japan Gerontological Evaluation Study (JAGES) Project. (Poster presentation)
2. 8th European Public Health Conference (Milano Congressi, Milan, Italy 2015.10.14-17)
 - 3) Yuiko Nagamine, Takeo Fujiwara, Takahiro Tabuchi, Yukako Tani, Naoki Kondo, Katsunori Kondo : The mobility of subjective socioeconomic status and mortality in Japan -JAGES cohort study- (4D8 201501475, Pitch presentation)
 - 4) Toyo Ashida, Takeo Fujiwara, Naoki Kondo, Katsunori Kondo : Childhood SES and social integration among older people in Japan (4D6 201501728, Pitch presentation, Eur J Public Health 2015, 25: Suppl 3, p93)
 - 5) Takeo Fujiwara, : Association of childhood abuse history and mild cognitive impairment: Results from JAGES study (3WN19 201501302, Poster walk)
 - 6) Natsuyo Yanagi, Takeo Fujiwara, Akira Hata, Katsunori Kondo: Association between childhood socioeconomic status and vegetables consumption in old age in Japan (2A5 201501877, Oral presentation, Eur J Public Health 2015, 25: Suppl 3, p32)
3. European Respiratory Society. Sep 2015
 - 7) Hiroo Wada, Ai Noda, Katsunori Kondo, Takeshi Tanigawa : Association between snoring and wheezing in aged Japanese general population.
4. 第 20 回静岡健康・長寿学術フォーラム (静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」, 2015.10.30)
 - 8) Eisaku Okada, Yuko Araki, Katsunori Kondo, Hiroshi Hirai, Toshiyuki Ojima
演題 Elucidation of related factors for onset of severe certification of long-term care insurance in community-dwelling elderly people: JAGES project 10-year follow-up study (抄録ページ p.69)
5. 第 74 回日本公衆衛生学会 (長崎, 長崎ブリックホール・長崎新聞文化ホール, 2015.11.4-6)
 - 9) 尾島俊之、竹田徳則、鄭丞媛、村田千代栄、岡田栄作、中村美詠子、齊藤雅茂、相田潤、近藤尚己、近藤克則: 認知症になりにくい地域特性に関する研究 (ポスター発表, P-0610-3, 抄録集 p.367, 長崎新聞文化ホール, 2015.11.05)
 - 10) 林尊弘、近藤克則、山田実、松本大輔: スポーツグループに参加している者で転倒発生は少ないのか—JAGES 縦断データ分析— (ポスター発表, P-0612-2, 抄録集 p.372, 長崎新聞文化ホール, 2015.11.05)
 - 11) 古賀千絵、花里真道、鈴木規道、引地博之、鈴木佳代、近藤克則: 高齢者における心理的虐待発生の特性 (ポスター発表, P-0706-5, 抄録集 p.397, 長崎新聞文化ホール, 2015.11.06)
 - 12) 鄭丞媛、井上祐介、近藤克則、宮國康弘: 物忘れとソーシャル・キャピタル関連指標との相関: JAGES プロジェクト (ポスター発表, P-0803-1, 抄録集 p.407, 長崎新聞文化ホール, 2015.11.05)
 - 13) 近藤尚己、長谷田真帆、芦田登代、谷友香子、高木大資、尾島俊之、近藤克則: 介護予防における地域診断と部門・職種間連携の効果: JAGES 介入研究プロトコル (ポスター発表, P-0803-5, 抄録集 p.408, 長崎新聞文化ホール, 2015.11.05)
 - 14) 本庄かおり、近藤尚己、谷友香子、近藤克則: 居住形態・社会関係とうつ症状発症の関連: JAGES 3年間コホート研究 (ポスター発表, P-0803-7, 抄録集 p.409, 長崎新聞文化ホール, 2015.11.05)
 - 15) 坪谷透、相田潤、近藤克則、小坂健: ペット飼育とうつ症状: 震災後の縦断研究・自然実験デザインからの知見 (JAGES) (ポスター発表, P-0605-1, 抄録集 p.353, 長崎新聞文化ホール, 2015.11.05)
 - 16) 山谷麻由美、近藤克則、近藤尚己: 高齢者サロンの展開における地域診断ツール「介護予防Webアトラス」の活用可能性 (ポスター発表, P-0602-2, 抄録集 p.345, 長崎新聞文化ホール, 2015.11.04)

- 17) 岡田尚、近藤克則、今野弘規、磯博康: 都市類型別にみた高齢者の教育歴と閉じこもりとの関連: JAGES プロジェクト (ポスター発表, P-0805-11, 抄録集 p.415, 長崎新聞文化ホール, 2015.11.05)
- 18) 坂庭嶺人、藤原武男、佐々木由理、白井こころ、近藤尚己、北村明彦、磯博康、近藤克則: 小児期の貧困経験が高齢期の認知症発症に与える影響: JAGES コホート研究 (ポスター発表, P-0707-4, 抄録集 p.399, 長崎新聞文化ホール, 2015.11.06)
- 19) 白井こころ、大平哲也、磯博康、広崎真弓、永井雅人、今井友里加、林慧、近藤尚己、近藤克則: 高齢者の笑いと糖尿病有病の関係についての検討: JAGES Study (ポスター発表, P-0303-2, 抄録集 p.260, 長崎新聞文化ホール, 2015.11.04)
- 20) 小嶋雅代、尾島俊之、坪谷透、糟谷昌志、近藤尚己、近藤克則: 高齢者大規模コホートデータを用いた慢性閉塞性肺疾患 (COPD) の社会的関連要因に関する検討、JAGES プロジェクト (ポスター発表, P-0209-2, 抄録集 p.249, 長崎ブリックホール, 2015.11.06)
- 21) 竹田徳則、鈴木佳代、近藤克則: 愛知県武豊町「憩いのサロン」運営ボランティアの活動時間調査 (ポスター発表, P-0609-4, 抄録集 p.365, 長崎新聞文化ホール, 2015.11.05)
- 22) 谷友香子、鈴木規道、花里真道、近藤克則、近藤尚己: 高齢者の食環境と死亡との関連: JAGES コホートデータ (ポスター発表, P-1702-5, 抄録集 p.527, 長崎新聞文化ホール, 2015.11.04)
- 23) 岡田栄作、近藤克則、宮國康弘、尾島俊之: フィルター機能を搭載した地域診断書の開発に関する研究: JAGES プロジェクト (ポスター発表, P-0803-11, 抄録集 p.410, 長崎新聞文化ホール, 2015.11.05)
- 24) 佐々木幸子、鶴川重和、岡田恵美子、趙文静、岸知子、坂元あい、近藤克則、玉腰暁子: 居住地域環境と高齢者の日常における身体活動との関連: JAGES ATTACH (ポスター発表, P-0603-4, 抄録集 p.348, 長崎新聞文化ホール, 2015.11.04)
- 25) 坂元あい、鶴川重和、岡田恵美子、佐々木幸子、趙文静、岸知子、近藤克則、玉腰暁子: 北海道在住の高齢者における社会参加と認知機能との関連: JAGES ATTACH (ポスター発表 P-0603-5, 抄録集 p.349, 長崎新聞文化ホール, 2015.11.04)
- 26) 鈴木規道、谷友香子、花里真道、近藤尚己、近藤克則: 高齢者の食環境とうつ発症との関連: JAGES コホートデータ (ポスター発表, P-1702-4, 抄録集 p.527, 長崎新聞文化ホール, 2015.11.04)
- 27) 芦田登代、近藤尚己、長谷田真帆、尾島俊之、近藤克則: 介護予防における地域間格差是正に向けた地域診断: JAGES プロジェクト (ポスター発表, P-0803-8, 抄録集 p.409, 長崎新聞文化ホール, 2015.11.05)
- 28) 小山史穂子、相田潤、齊藤雅茂、松山祐輔、佐藤遊洋、近藤克則、近藤尚己、尾島俊之、山本龍生、坪谷透、小坂健: ソーシャル・キャピタルと口腔健康の変化のコホート研究～JAGES プロジェクト～ (ポスター発表, P-1101-7, 抄録集 p.441, 長崎ブリックホール, 2015.11.04)
- 29) 長幡友実、中出美代、中村美詠子、岡田栄作、尾島俊之、近藤克則: 地域在住高齢者の社会参加の有無と痩せの関連: JAGES プロジェクト (ポスター発表, P-0803-10, 抄録集 p.409, 長崎新聞文化ホール, 2015.11.5)
- 30) 佐藤遊洋、相田潤、白井こころ、坪谷透、小山史穂子、松山祐輔、小坂健、近藤克則: 普遍化信頼および特定化信頼と主観的健康感の関連の研究: JAGES プロジェクト (ポスター発表, P-0803-9, 抄録集 p.409, 長崎新聞文化ホール, 2015.11.05)
- 31) 宮國康弘、佐々木由理、谷友香子、近藤克則: 社会参加, 社会的ネットワーク, 社会的サポートと死亡の関連 (ポスター発表, P-0804-10, 抄録集 p.412, 長崎新聞文化ホール, 2015.11.05)
- 32) 佐々木由理、宮國康弘、谷友香子、辻大士、長嶺由衣子、亀田義人、斎藤民、垣本和宏、近藤克則: 高齢者のうつからのリカバリー要因 -JAGES 2010-13 パネルデータ分析- (ポスター発表, P-0605-11, 抄録集 p.356, 長崎新聞文化ホール, 2015.11.05)
- 33) 辻大士、佐々木由理、宮國康弘、長嶺由衣子、近藤克則: 被災地高齢者の震災前のコミュニティ参加やストレス対処能力と震災後の運動習慣の関連 (ポスター発表, P-1802-2, 抄録集 p.541, 長崎ブリックホール, 2015.11.05)
- 34) 長谷田真帆、近藤尚己、芦田登代、高木大資、谷友香子、尾島俊之、近藤克則: 介護予防担当職員のソーシャル・キャピタルと施策化能力: JAGES 市町村担当者調査 (ポスター発表, P-0803-6, 抄録集 p.408, 長崎新聞文化ホール, 2015.11.05)
- 35) 柳奈津代、藤原武男、羽田明、近藤克則: 子ども期 SES と睡眠の質との関連に関する研究 (ポスター発表, P-0805-5, 抄録集 p.413, 長崎新聞文化ホール, 2015.11.05)

6. 第17回日本健康支援学会年次学術大会『健康格差を縮小するために必要なコラボレーションは何か?』(名古屋学芸大学 2016.2.28)
- 36) 齊藤雅茂:高齢期の健康格差:JAGESプロジェクトの主要な知見より
- 37) 辻 大士, 阿部 巧, 長嶺 由衣子, 亀田 義人, 大藏 倫博, 近藤 克則:高齢者のメタボリックシンドロームは要支援・要介護認定を予測するか?

<機関誌>

- 1) 村田千代栄:「連載認知症になっても大丈夫な地域づくり」地域包括ケアと地域づくり. 連載全4回でシリーズ,「三重の国保」秋号(Vol.369)2015.9より

<その他>

- 1) 近藤克則:健康格差の縮小に向けた取り組み. 解説 健康日本21(第二次)健康長寿社会を創る:73-77, 2015
- 2) 近藤克則:人々のつながり(ソーシャル・キャピタル)の強化. 解説 健康日本21(第二次)健康長寿社会を創る:78-82, 2015
- 3) 長嶺由衣子, 近藤克則:健康の社会的決定要因とプライマリ・ケア. 省察:大都市の総合診療 8:130-134, 2015
- 4) 宮國 康弘, 近藤 克則:健康格差の実態とその対策の手がかり. 月刊健康づくり 38(12):12-15, 2015(査読なし)

3. シンポジウム・講演・メディア等

<シンポジウム等>

- 1) ソーシャル・キャピタル研究における異分野間の学際的知見の共有, 日本大学稲葉陽二研究室主催ソーシャルキャピタルワークショップ, 日本大学法学部, 2016.3.12
- ・ 近藤克則:「JAGESの概要」,「武豊プロジェクト 地域介入研究」
 - ・ 齊藤雅茂:「健康の視点からみたソーシャル・キャピタル指標」
 - ・ 相田潤:「東日本大震災とソーシャル・キャピタル」
 - ・ 白井こころ:「沖縄の高齢者のソーシャル・キャピタルと健康」
 - ・ 等々力英美:「沖縄の児童と保護者における食育介入研究から見た家族機能」
- 2) 第74回日本公衆衛生学会(長崎, 長崎ブリックホール・長崎新聞文化ホール, 2015.11.4-6)
- ・ シンポジウム22『子どもの貧困と健康』
藤原武男:「子どもの貧困と健康:疫学の視点から」
 - ・ シンポジウム23『ヘルスサービスリサーチの現状と展望』
近藤克則: 座長
村田千代栄:「医療アクセスの関連要因—JAGESプロジェクトの知見を中心に—」
 - ・ シンポジウム25『「健康格差の縮小」をどう進めるか—健康格差対策の7原則』
近藤克則 :座長
近藤尚己:「健康格差対策を<はじめる><考える>原則」
稲葉陽二:「健康格差の7原則」の第5原則「重層的対策」について
尾島俊之:「健康格差対策を<動かす>原則」
岡田尚:「神戸市における介護予防の取り組み—健康格差縮小に向けて」
- 3) 近藤克則:「高齢者の社会参加による地方創生—予防医学の視点から—」,
医療経済フォーラム・ジャパン第14回公開シンポジウム《地方創生における医療・介護の役割》
(東京プリンスホテル 2階 プロビデンスホール, 2015.10.22)
- 4) 近藤克則:「地域包括ケアと保健医療福祉政策」
日韓国交正常化50周年記念 日本福祉大学・延世大学第10回日韓定期シンポジウム《高齢社会における医療・福祉・介護制度改革の課題と展望》
(日本福祉大学 東海キャンパス S401 教室, 2015.10.17, 主催:日本福祉大学 延世大学医療福祉研究所, 共催:駐名古屋大韓民国総領事館)

<その他のセミナー等>

- 1) 山本龍生:日本私立歯科大学協会主催のプレスセミナー (東京都千代田区, 2015.10.21)
「歯の健康とその後の認知症・転倒・要介護の関係-歯科から健康寿命延伸への貢献を目指して-」 JAGES プロジェクトの研究成果の紹介
→マイナビニュースに記事が掲載されました(<http://news.mynavi.jp/articles/2015/10/27/teeth/>)
- 2) 近藤克則:大阪大学主催 2015 年環太平洋大学協会(APRU) Global Health Program Workshop (大阪大学, 2015.11.01) “Nation-wide research on aging in Japan and its”

<特別講演>

- 1) 近藤克則:熊本地域リハビリテーション支援協議会総会・特別講演(くまもと県民交流間パレオ, 2015.12.03)
- 2) 近藤克則:第 25 回日本全身咬合学会学術大会 (愛知学院大学楠元キャンパス, 2015.11.28)
「高齢者の口腔機能と健康と社会」

<講演>

- 1) 近藤克則:ビックデータ時代のリハビリテーション, 第 35 回千葉県リハ医学懇話会, ホテルポートプラザ千葉 2階「パールの間」, 2016.2.18
- 2) 斉藤雅茂:少子高齢化社会と買い物支援, あま市社会福祉協議会 買い物支援ボランティア養成講座, 2016.2.15-16
- 3) 斉藤雅茂:わが町の地域診断:高齢者の実態を知ろう, 豊橋市社会福祉協議会 とよはしマスターカレッジ, 2016.1.20
- 4) 近藤克則:住民と協働で行う地域づくり. 名古屋市健康福祉局 名古屋市介護予防研修会, 日本福祉大学名古屋キャンパス, 2015.12.11
- 5) 近藤克則:つながりで健康づくり ~ソーシャルキャピタルが元気の秘訣~. 横浜市磯子福祉保健センター 磯子区地域介護予防連絡会, 磯子区役所, 2015.11.18
- 6) 近藤克則:地域特性に応じた健康なまちづくりを推進するためのデータ活用. 長生健康福祉センター管内保健師業務研究会, 千葉県長生合同庁舎, 2015.10.30
- 7) 鈴木佳代:超高齢社会における健康・いきがい推進のまちづくり:大規模社会疫学調査データと高齢者サロンの分析から政策科学研究所講演会, 愛知学院大学政策科学研究所, 2015.10.28
- 8) 近藤克則:医療現場におけるデータベースの現状と課題. 産業医科大学 大学院講義『リハビリテーション医学』, 産業医科大学, 2015.10.23
- 9) 近藤克則:地域診断に基づく参加型地域づくりと保健師活動. 市川健康福祉センター管内保健師業務連絡研究会, 千葉県市川健康福祉センター, 2015.10.19)
- 10) 近藤克則:「地域づくり指標に基づいた健康なまちづくり」~健康格差社会の「みえる化」と対策~. 第 6 回流山市医師会市民公開講座, 流山市文化会館 大ホール, 2015.10.18
- 11) 近藤克則:持続可能な社会保障制度は可能か ~健康格差の視点から~. 地域医療研究会 全国大会 IN 大阪, 大阪国際交流センター, 2015.10.04
- 12) 鈴木佳代:武豊町憩いのサロンにおける介護予防効果:みんなでワイワイ、元気なまちづくり. 愛知県知多郡武豊町定例民生委員児童委員協議会講話, 武豊町思いやりセンター, 2015.8.21

<自由集会>

- 1) 第 74 回日本公衆衛生学会 (長崎, 「えきまえ」いきいきひろば, 2015.11.4)
“地域の力”(ソーシャル・キャピタル)と健康 - 最新の知見と実際の保健医療行政への応用 (活用・実践・政策編):近藤克則、尾島俊之、近藤尚己、藤原武男
- 2) 第 74 回日本公衆衛生学会 (長崎, 「えきまえ」いきいきひろば, 2015.11.4)
“地域の力”(ソーシャル・キャピタル)と健康 - 最新の知見と実際の保健医療行政への応用 (測定・評価・研究編):藤原武男

<メディア掲載・放送>

- 1) JAGES 研究成果(歯と認知症の関係)「認知症にも効果あり? 人生を変える”噛める入れ歯”」, フジテレビ「新報道 2001」でが紹介されました. 2016.4.3 (山本龍生)

- 2) 「笑い論文」が毎日新聞の論説記事で紹介されました。2016.3.23(林慧)
<http://mainichi.jp/articles/20160323/ddm/008/070/039000c>
- 3) 東日本大震災で住宅を失った人のうち、「抽選で仮設住宅に入居した」人は、「地域ごとの集団入居」の住民に比べて、精神障害のリスクが高いという研究論文が紹介されました。フジテレビ 2016. 2. 23(東北大学などの研究チーム)
- 4) 「高齢者の歩く割合増の地域ほど転倒の割合減」(長嶺由衣子)
歩いて減少高齢者転倒, JAGES、自治体調査、毎日30分以上が有効
福島民友 2016.1.25, 静岡新聞 2016.1.25, 岩手新聞 2016.1.29, 高知新聞 2016.1.29, 山形新聞 2016.2.1, 下野新聞 2016.2.2, 埼玉新聞 2016.2.3, 日本海新聞 2016.2.4, 京都新聞 2016.2.9, 愛媛新聞 2016.2.14, 新潟日報 2016.2.16, 大分合同新聞 2016.2.20 等
- 5) 10/27(火) TBS テレビ【Nスタ】
「肥満男性の死亡リスク・低所得で高い」(中出美代)
「1人暮らしの65歳以上の男性が一人で食事をしている場合、複数で食事をしている人と比べ2.7倍もうつ症状になりやすい」(谷友香子)
「BMIごとの所得別死亡リスク、男性の肥満による死亡リスクについて」(中出美代)
「笑わない人は健康ではないと感じる人が1.5倍以上」(林慧)
「男性の食事によるうつ症状のなりやすさについて」(谷友香子)
- 6) 保健事業に携わる人の情報誌「ヘルスアップ」21(株式会社 法研),平成 28 年 1 号 p.28
【日本老年学的評価研究(JAGES プロジェクトの成果に関する最新情報(10/27 記者会見より)】
「男性の肥満による死亡リスクは低所得者で約 2 倍高い」(中出美代)
「笑わない人では健康感が悪い人が 1.5 倍以上多い」(林慧、近藤尚己)
「高齢者のうつの割合には市町村間に 1.7 倍の地域差があり、地域の人とのサポートの授受が豊かであればうつの割合は減る」(佐々木由理)
「一人暮らしの男性は一人で食事をしていると、誰かと一緒に食事をする場合に比べて、2.7 倍うつになりやすい」(谷友香子)
- 7) 谷友香子:「独居高齢男性、孤食でうつ発症が 2.7 倍に 全国調査」朝日新聞 DIGITAL (2015.10.28)
<http://www.asahi.com/articles/ASHBW4R60HBWULBJ009.html>
「独居・高齢男性の孤食 2.7 倍うつ誘発」朝日新聞, 7 面(2015.10.28)
「「うつ」リスク孤食で上昇」中日新聞, 3 面(2015.10.28)
「孤食高齢者うつリスク予防に「会食サービスを」」神奈川新聞, 22 面(2015.10.28)
「高齢者孤食でうつに 東大研究チーム独居男性は 2.7 倍」埼玉新聞, 18 面(2015.10.28)
「高齢者の孤食 うつの危険」長崎新聞, 27 面(2015.10.28)
「孤食にうつの危険 高齢者、独居男性は 2.7 倍」佐賀新聞,(2015.10.28)
「高齢者の孤食 うつの危険」愛媛新聞, 6 面(2015.10.28)
「「孤食」高齢者 うつの危険」四国新聞, 16 面(2015.10.28)
「高齢者「孤食」→うつの危険」東奥日報, 21 面(2015.10.28)
「高齢者の孤食にうつの危険 独居男性は 2.7 倍」47NEWS 共同ニュース、【共同通信】
<http://www.47news.jp/CN/201510/CN2015102701001907.html>
- 8) 「孤食多い高齢者、うつになりやすく 独居男性は 2.7 倍」
日本経済新聞 Web 版 (2015.10.31)、日経新聞 朝刊(社会 13 版, 2015.11.01)
http://www.nikkei.com/article/DGXLASDG27HC4_R31C15A0000000/
中日新聞のコラム(中日春秋)、中日新聞 CHUNICHI Web (2015.11.13)でとりあげられました
<http://www.chunichi.co.jp/article/column/syunju/CK2015110202000101.html>
読売新聞 夕刊(12.01) 一人で食事、うつ症状でやすく(特集の一部)
「孤食独居の高齢男性うつ傾向 2.7 倍」しんぶん赤旗, 11 面(2015.11.14)
「おひとりさま男性」特集の一部。週間朝日, 2015 年 11 月 20 号
- 9) 佐々木由理:週刊朝日(12 月 4 日)「退職後の友人の作り方」特集の一部
- 10) 山本龍生:「認知症 歯失うとリスク増」「重心保てず転倒原因にも」河北新報 23 面(2015.11.12)

<その他の業績>

1) JAGES メンバー(金森悟)による業績:

Kanamori S, Takamiya T, Inoue S. Group exercise for adults and elderly: Determinants of participation in group exercise and its associations with health outcome. The Japanese Journal of Physical Fitness and Sports Medicine. 2015;4: 315-320 https://www.jstage.jst.go.jp/article/jpfsm/4/4/4_315/article

4. 研究費獲得のお知らせ

1) 白井こころ:平成26年度科研費, 日本学術振興会審査担当分特設領域研究(ネオ・ジェロントロジー分野)

基盤研究(B) (研究課題番号:15KT0007) (平 27 年度~平成 31 年度)

課題名:「沖縄地域在住高齢者の健康長寿と社会関係資本の関係」(研究課題番号:15KT0007)

2) 谷友香子:公益財団法人ロッテ財団 奨励研究助成(2016.4.1-2020.3.31)

課題名:食環境が高齢者の健康に及ぼす影響に関する縦断的検討

3) 芦田登代:公益財団法人 医療科学研究所 研究助成(2015.11.1~2016.10.31)

課題名: レセプトデータを利用した地域包括ケアのあり方に関する研究

4) 佐藤遊洋:公益財団法人 医療科学研究所 研究助成(2015.11.1~2016.10.31)

課題名:東日本大震災前のソーシャルキャピタルと震災後の要介護状態発生の関連のコホート研究

5. 自治体共同研究会等

- ・名古屋市共同研究会 2015年11月13日, 12月11日, 12月24日, 2016年2月15日
- ・東海市共同研究会 2015年11月16日
- ・武豊町共同研究会 2015年11月20日, 2016年3月22日,
- ・豊橋市共同研究会 2015年12月1日, 2016年1月20日, 3月14日
- ・常滑市共同研究会 2016年2月19日, 3月18日
- ・リハDB研究会 2016年1月8日, 2月12日

6. その他

名古屋事務局会議を以下の日程で開催いたしました

2015年	12月	1日
2016年	1月	9日
	2月	12日
	3月	4日
	3月	18日
	4月	8日

ニューズレター第41号の発行にご協力いただきましてありがとうございました。

今後とも当センターへのご支援をよろしくお願い申し上げます。

メーリングリストの配信の停止をご希望の方・ご意見・お問い合わせ・情報提供はこちら <p-tanaka@n-fukushi.ac.jp (田中)>までお知らせください (ご連絡の際は*を@に変更して下さい)。

ニューズレターのバックナンバーはこちら <[バックナンバー](#)>

発行元: 健康社会研究センター <http://cws.umin.jp/>

このメールは、国際シンポジウム「健康の社会的決定要因—社会疫学の可能性」(2009年3月14日開催)及び、「『健康の社会的決定要因』を巡る国際的動向」(2011年12月23日開催)、国際ワークショップ「社会疫学と老年学における国際共同研究の可能性」(2012年1月8日開催)にてメール登録をご希望いただいた方及びメーリングリストweb登録をいただいた方に配信しています。